

岡山操車場跡地の公園整備に関する地域ニーズ調査報告

調査概要

調査概要 「人々が関わることで育まれる都市の森」をテーマに岡山操車場跡地に整備が進んでいる新しい公園(岡山西部総合公園【仮称】)について、今後の公園の運営に活かしていくため、地域の皆様にこれまでの計画の現状を知っていただき、お一人おひとりの率直なご意見(ニーズ)をおきかせいただくことを目的としています。

調査対象 岡山操車場跡地から半径約2km圏内にある小学校区のご家庭(企業)

調査期間 平成29年1月18日～平成29年2月26日(日)

調査方法 対象地域の各町内会ごと、学校、企業へのアンケート用紙配布、及び当ウェブサイト上設置のアンケートフォームによる

サンプル数 アンケート配布総数19,696件

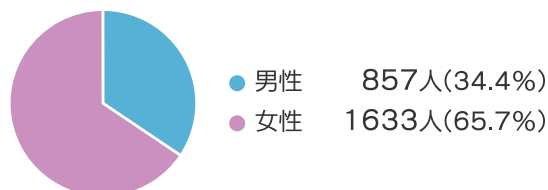
西学区	大元学区	御南学区	大野学区	合計
6,521	5,338	5,009	2,828	19,696

アンケート有効回収数 2,490件

回答数及び回答率について

Q1

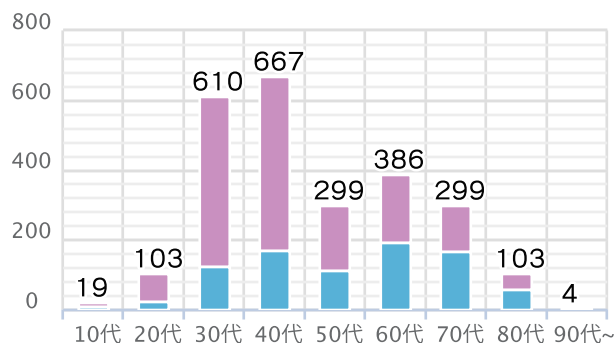
性別比



Q2

年齢別

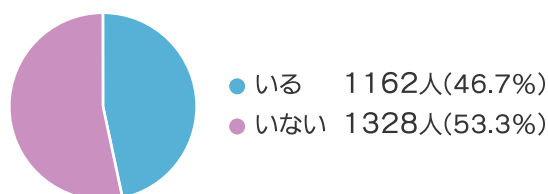
● 男性 ● 女性



12.6%の回答率に対して男女比は約1:2でした。30~40代の回答が最も多く、特に女性比率が高く、次いで60~70代の回答が多く、特に男性比率が高いという結果でした。

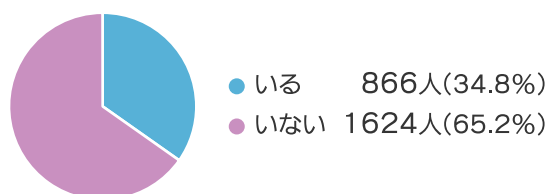
Q3

家族に12歳以下の方がいる



Q4

家族に65歳以上の方がいる



約半数（46.6%）のご家庭に12歳以下の子がいらっしゃるという結果で、地域特性として「子どもたちが多いこと」が考えられます。また、3割強（34.8%）のご家庭に65歳以上の方がいらっしゃるという結果でした。この総数は今後も「アクティブ・シニア」として増加傾向にあると考えられます。

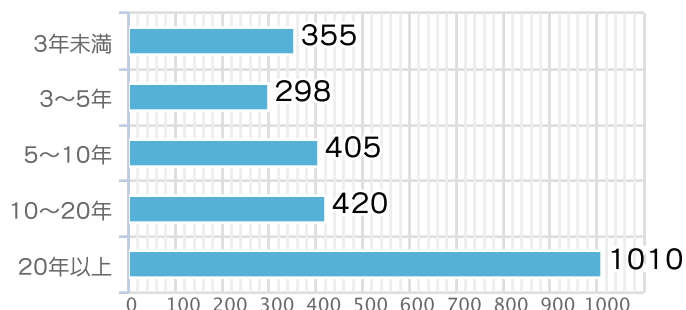
Q5

居住学区



Q6

居住年数



20年以上在住のご家庭から突出して回答を頂きました。「地域ごと」への愛着の深さがうかがえると思います。古くからの土地の歴史（地の利）にも詳しく、今後の実践に向けて注目すべき存在です。

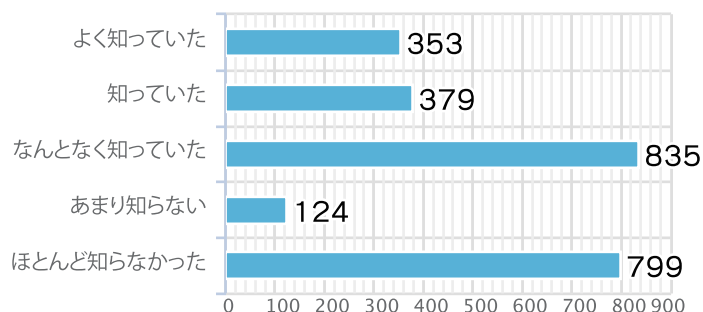
C7

子育て家庭及びシニア家庭を合わせると実に2028世帯（81.4%）でした。子育て世代は女性、シニア世代は男性が率先して回答頂いていることから、「子育て」に対するニーズや、「老後の楽しみ」に対するニーズがアンケートの中に大きく反映されているかと思われます。一方で世代による「意見の割れ」のようなものも存在するため、今後世代交流の生まれるような話し合いが必要になってくると考えられます。

公園整備計画について

Q8

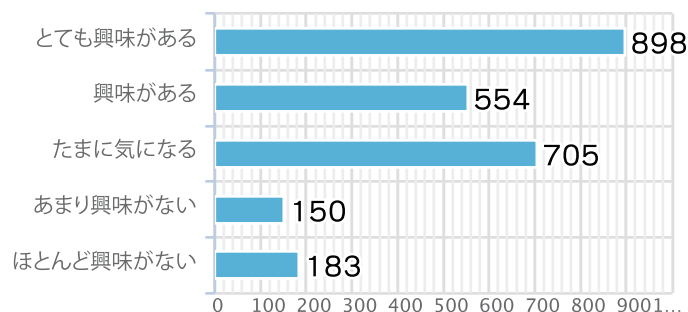
北長瀬駅周辺に公園が計画されていることを知っていましたか？



あまり知らなかった、ほとんど知らなかった世帯を合わせて、923世帯に「知ってもらう」ことができ、ニーズ調査を行ったことが有意義であったと考えます

Q9

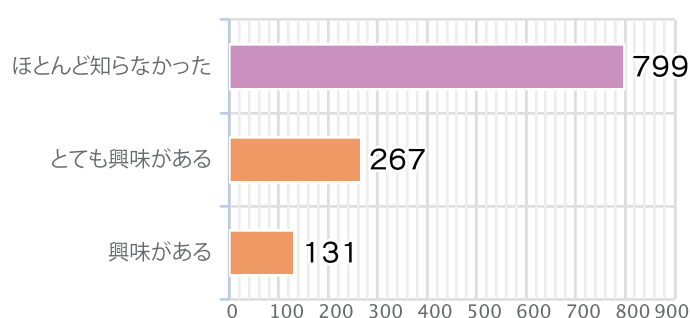
公園づくりに興味がありますか？



回答頂いたうち58.3%ものご家庭が興味を持たれていた。（たまに気になるご家庭も合わせると86.6%）

C10

公園整備計画の認知度及び関心に対する報告



「公園が計画されることを知っていましたか」において「ほとんど知らなかった（799人）」と答えた方のうち、「公園づくりに興味がありますか」において「とても興味がある」「興味がある」と答えた方の統計はグラフの結果となりました。

「ほとんど知らなかった」ご家庭が「興味を持った」と答えた合計は398人で、知らなかった方のほぼ半数の方は興味を持っていたこととなります。

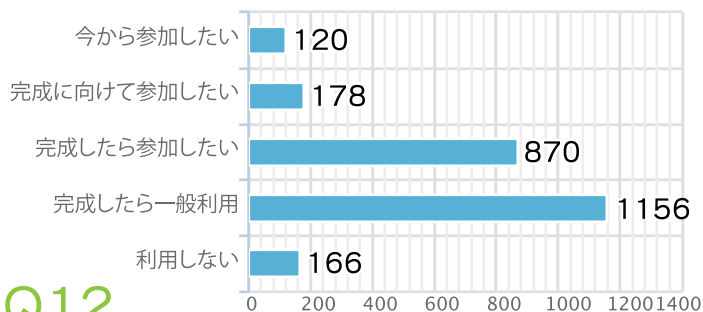
人々が期待していること

自然と触れ合える公園に期待しますか？



Q11

自然と触れ合える公園にどのように参加したいですか？



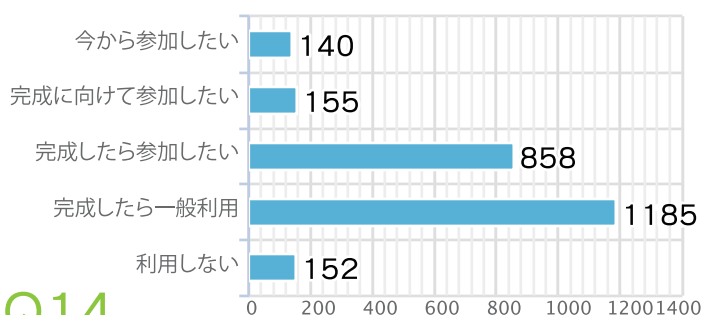
Q12

野外で飲食が楽しめる公園に期待しますか？



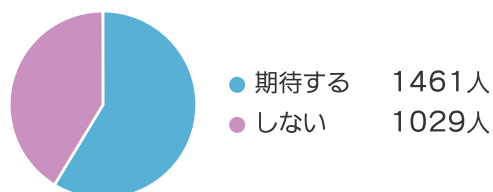
Q13

野外で飲食が楽しめる公園にどのように参加したいですか？



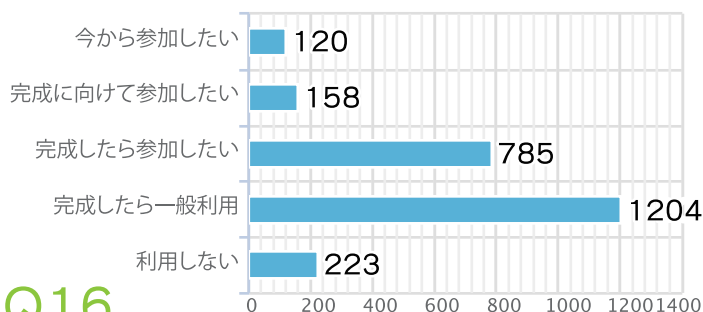
Q14

健康プログラムがある公園に期待しますか？



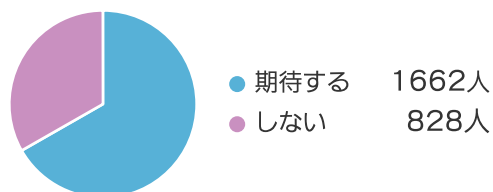
Q15

健康プログラムがある公園にどのように参加したいですか？



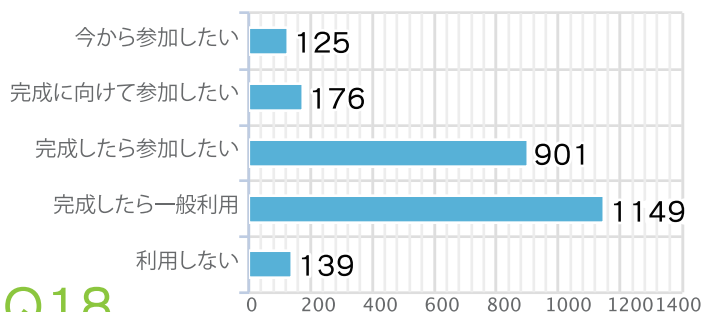
Q16

定期的なイベントがある公園に期待しますか？



Q17

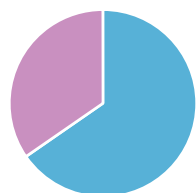
定期的なイベントがある公園にどのように参加したいですか？



Q18

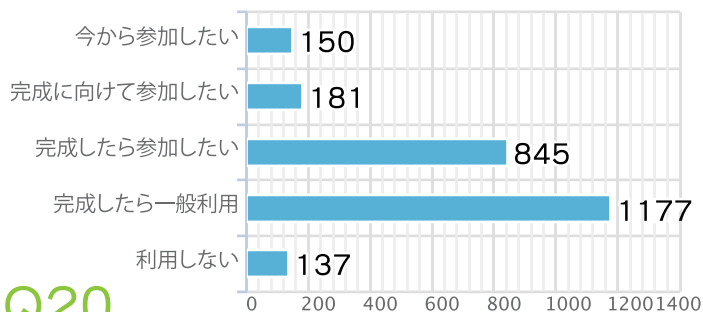
人々が期待していること

防災拠点として機能する公園に期待しますか？



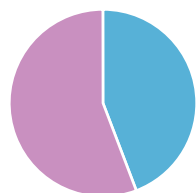
Q19

防災拠点として機能する公園にどのように参加したいですか？



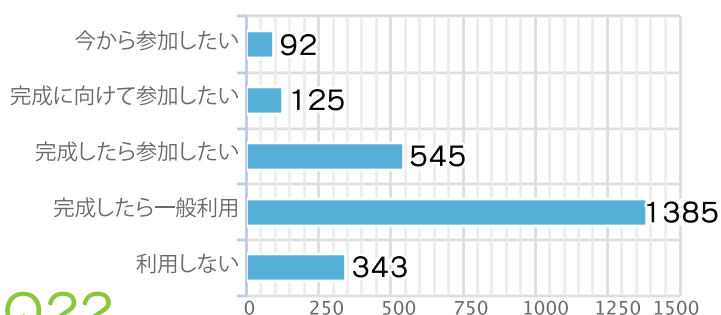
Q20

教育と連携した公園に期待しますか？



Q21

教育と連携した公園にどのように参加したいですか？



Q22

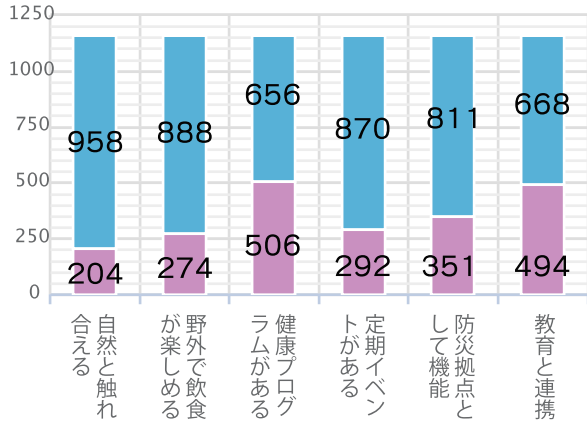
C23 人々が期待していることに対する報告

今後のアンケート活用で注目したいことは「今から活動参加したい方々」のご協力を頂きながら、「完成しても利用しない（できない）」方々の不満を解消していくことが地域コンセンサスに繋がると考えられます。そのような方々とどのように関わっていくかが今後の活動の鍵になってくると思われまます。

庭園都市推進課としての方向性は、ハード面の整備に関しては行政の主導のもと、ソフト面の仕組みに関しては市民が主体となり協議していく公園づくり（パークマネジメント）を望んでいます。今、私たちにできることは何かということを改めて考えさせられる結果となりました。

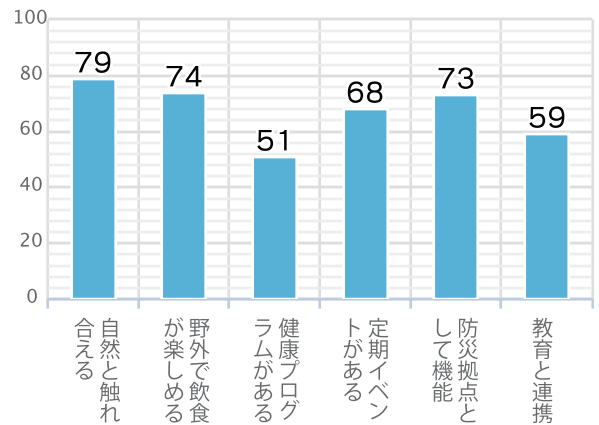
属性別の傾向

Q24 子育て世代が何を期待しているか



● 期待する
● しない

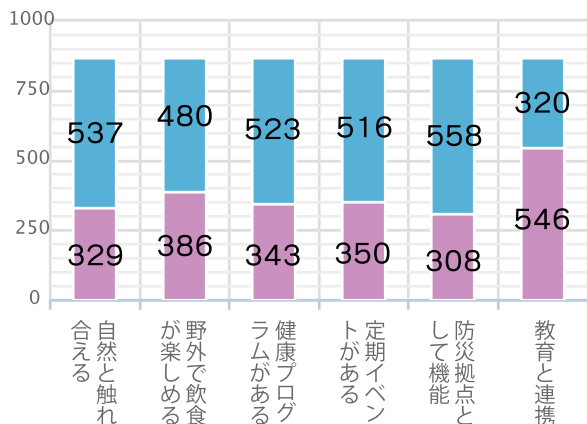
家族に「12歳以下の方がいる」(1162件)と答えた子育て家庭で「公園づくりに興味がありますか」において「とても興味がある」「興味がある」と答えた方の統計は775人で、子育て家庭の半数以上が興味があり、「12歳以下の方がいる」(1162件)子育て家庭において、各項目別で「期待する」と答えた方は左記のグラフの結果となりました。



Q24 子育て世代で今から活動に参加したい

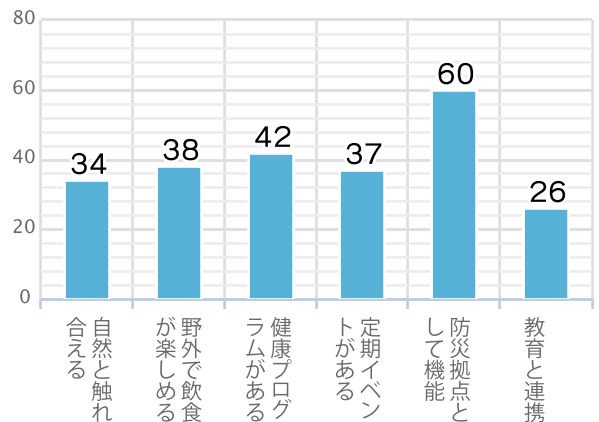
家族に「12歳以下の方がいる」(1162件)と答えた子育て家庭で各項目別で「今から活動に参加したい」と答えた方の統計は右記のグラフの結果となりました。

Q26 シニアがいる家庭が何を期待しているか



● 期待する
● しない

家族に「65歳以上の方がいる」(866件)と答えたシニアがいる家庭で「公園づくりに興味がありますか」において「とても興味がある」「興味がある」と答えた方の統計は505人で、シニアがいる家庭の半数以上が興味があり、「65歳以上の方がいる」(866件)のシニアがいる家庭において、各項目別で「期待する」と答えた方は左記のグラフの結果となりました。

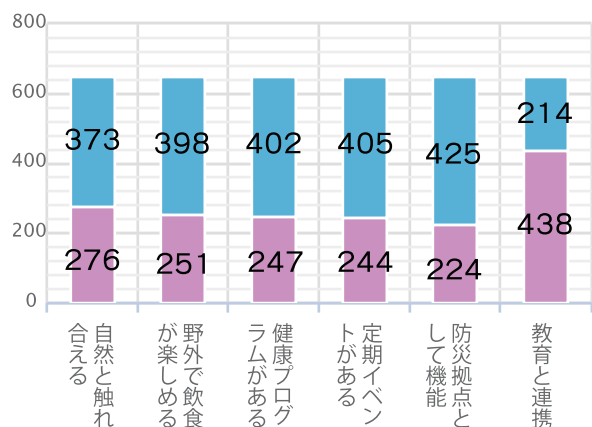


Q26 シニアがいる家庭で今から活動に参加したい

家族に「65歳以上の方がいる」(866件)と答えたシニアがいる家庭で各項目別で「今から活動に参加したい」と答えた方の統計は右記のグラフの結果となりました。

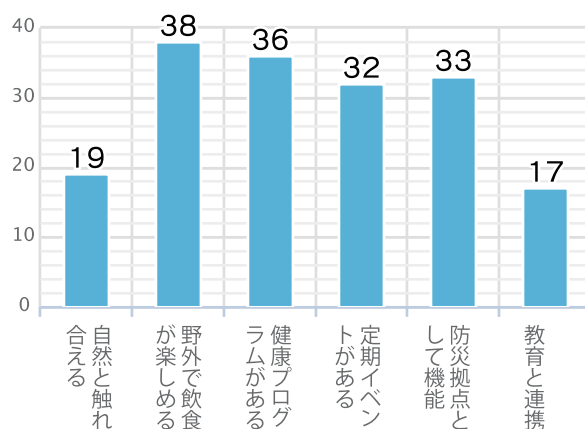
属性別の傾向

Q28 一般家庭が何を期待しているか



● 期待する
● しない

家族に「12歳以下及び65歳以上の方がいない」(649件)と答えた家庭で「公園づくりに興味がありますか」において「とても興味がある」「興味がある」と答えた方の統計は303人で、「12歳以下及び65歳以上の方がいない」(649件)と答えた家庭において、各項目別で「期待する」と答えた方は左記のグラフの結果となりました。



Q29 一般家庭で今から活動に参加したい

家族に「12歳以下及び65歳以上の方がいない」(649件)と答えた家庭で各項目別で「今から活動に参加したい」と答えた方の統計は右記のグラフの結果となりました。

C30 属性別の傾向に対する報告

「教育と連携した」公園は市民が何を関われるのか、少し分かりにくかったのかもしれませんが、それ以外に関しては全体を通して期待値に大きな差はありませんでした。しかし、世代や家族構成によって期待する内容に傾向があることがわかりました。中でも子育て世代では「自然と触れ合える(958)」「野外で飲食が楽しめる(888)」公園に期待し、そのための活動に今から参加したいという主体的な意見が多く見られました。(自然79/野外飲食74)

シニアがいる家庭では「防災拠点として機能する(558)」「自然と触れ合える(537)」公園に期待し、今から活動に参加したい項目は「防災拠点として機能する(60)」「健康プログラムがある(42)」公園という意見が多く寄せられました。

世代ごとのニーズを尊重しながら、かつ多様な世代が交流する仕組みが「総合公園」としてバランスよく機能するために必要不可欠なのかもしれません。

項目別のご意見での傾向

Q31 自然と触れ合える公園に対するご意見

プレーパーク

大きい子供用と小さい子供用の遊具を離して設置
安全性・裸足で駆け回っても大丈夫な公園・ケガをしにくい柔らかい地面
小学校中高学年が楽しめる長いアスレチックコース
アスレチックの充実、大人も健康的に遊べるトレーニング遊具
ツリーハウス・木登り可の低木・ソリのできる芝生
デイキャンプなども出来るスペース・焚き火キャンプ
ボールの使用の制限が多くあつたりする公園が多いので、そこの差別化

ピオトープ・水

ピオトープ・噴水
子供が足をつけて遊べるような水遊び場
雨天時でも年齢問わず楽しめる屋内施設
虫が生息する場所
手洗い場や更衣室
魚、蛙などが住める川辺の自然の充実・池の設置

園芸

作られた街路樹ばかりの公園ではなく、自然が感じられるエコガーデニング
市民農園・子どもと一緒に野菜づくりなど、一緒に育てる楽しみを体験したい
有機菜園
道の駅のように、野菜、植物などの販売所
園芸教室・貸し農園

自然・散策

緑が豊富で自然の大切さを感じ取れる公園
季節の花が楽しめて、四季が感じられるゆっくり散歩できる空間
車椅子でも散策できる高低差の少ない設計・年齢問わず自然に歩けるようなところ
花見・紅葉狩り・木の実拾い
鉄道が見えるのは大事にしてほしい
子どもが遊びの中で自然のことを学べるような場所
日よけとなるような樹木・木陰の休憩所

動物

ペットと一緒に散歩できるように
ドッグランのコーナー
小動物園・動物と触れ合える場所
生態系観察
ペットの糞尿などの始末に対するマナー・匂い対策

維持管理・手入れ

清潔保持、ゴミ箱の設置と管理を徹底
歩道、遊び場に問わず安全性を確保
今後どのくらいの維持管理費が必要となるのか？
事故や問題が起きた際の対応、対処の方法について明確に
害虫対策・トイレの美化維持
雇用を創出できるような管理人常駐の公園

項目別のご意見での傾向

Q32 野外で飲食が楽しめる公園に対するご意見

バーベキュー

安全管理のもと、バーベキューが気軽にできる場所
 におい、火の扱いが心配。ゴミの処理問題
 テーブル・椅子・ベンチを設置
 バーベキューは有料利用・バーベキューセットの貸し出し
 バーベキューサイトは他のエリアと分けて、予約制・利用時間制限
 ゴミは持ち帰りでマナーを学べる場所に

ピクニック

芝生で家族で弁当を食べながらゆっくり出来たら良い
 遊び場とは別のスペースで、ただし遊び場も見渡せる
 洗面所やトイレの充実・ゴミ箱の設置
 授乳室やベビーカー置き場
 コミュニティキッチン

朝市・マルシェ

朝市、マルシェの定期開催
 フリーマーケット、ロハスフェスタなど
 近県からも人が呼び込めるイベント
 地産地消のものを取り扱ったイベント
 フードフェスタ

カフェ

ゆっくりできるオープンカフェ・常設のカフェ
 スポーツ施設と合わせた喫茶店などの飲食店舗
 屋根や木陰のある飲食スペース
 問屋町との回遊性を踏まえた飲食店舗
 屋台や移動販売
 図書館のような文化施設内での飲食スペース

Q33 健康プログラムがある公園に対するご意見

スポーツ

ジョギングコース・ウォーキングコース
 サイクリングコース
 グランドゴルフ・パークゴルフ
 水泳・プール
 バスケットボール・テニス・キャッチボール
 ボルダリング・乗馬

その他

託児付きで、参加できるプログラム
 更衣室の併設・有料のシャワー施設の併設
 ロッカールーム
 防犯上、夜も明るいコースの設置

健康

幅広い世代が集まれる教室（ダンス・体操・陸上・自転車の乗り方など）・青空ヨガ・太極拳
 低料金の屋内ジム
 健康器具の設置
 市民病院との連携でリハビリのできるような器具の設置
 食育セミナー
 騒音問題でなくなりつつあるラジオ体操

項目別のご意見での傾向

Q34 定期的なイベントがある公園に対するご意見

イベント

フリーマーケット
 鉄道に関するイベント・出張図書館・文化的なイベント
 野外音楽祭や映画の野外上映
 ヒーローショー・体験型イベント
 講演などにも使える小中規模のステージの設置・演劇
 自然溢れる公園を活かしたイベント
 ファジアーノのパブリックビューイング

騒音・渋滞・ゴミ

イベント時の渋滞・騒音
 駐車場の確保・車が増えることでの交通マナーの心配
 トイレや手洗いの充実
 ゴミ処理の問題、美化が保てるか
 治安の悪化への心配
 ロッカールーム

サーカス

サーカスのくる町として、発信、継続
 木下大サーカスの開催地として定着
 大運動会
 大道芸のショー

その他

子育て世代が交流できるようなイベント
 子供が様々な分野に興味を持てるようなイベント
 一時的ではなく、継続性のあるもの
 移動図書館・移動動物園・子供給本列車
 お花見・お月見・もちつき・茶会
 四季が感じられるイベント・イルミネーション
 プロジェクションマッピング
 天体観測・動物愛護（動物イベント、譲渡会）
 お金をかけずに遊べれるイベント

Q35 防災拠点として機能する公園に対するご意見

防災機能

市民病院と連携
 各自治体、町内会、機関との普段からの連携
 防災訓練の実施
 備蓄設備・シェルター・仮設避難所用地としての機能
 交番の設置
 自然エネルギーの促進
 浸水しないように土地を少し高台にする

ボランティア

普段から炊き出しやライフラインが不足した事態の訓練
 車椅子の方でも利用できるトイレ
 災害時などの相談ができる相談室
 被害時のケア施設・ミニFM局
 防災キャンプ・災害ボランティア
 地域市民と連携した避難についての訓練、勉強会

表示・案内

公園の機能的レイアウト
 普段から防災拠点としての広報をしっかりと
 木々を多くする分、燃え移る心配のない木々の無い十分な広さの避難スペース
 線路北側への容易なアクセスの整備
 市内だけでなく、他市他県への輸送拠点としての掲示

項目別のご意見での傾向

Q36 教育と連携した公園に対するご意見

学童

学童施設・待機児童解消の施設・保育園
公立幼稚園児の預かり保育
一時預かり・託児施設
塾型の教育施設

学習

図書館の設置
小学校と連携して、栽培や飼育の実習・課外活動
静かに過ごせる学習スペース・屋内学習施設
博物館
シニアでも参加できる学習会

子育て

課外授業・体験型学習ができるゾーン
未就学児が安全に遊び学べる施設
防犯カメラの設置・外灯の設置
共同農園・飼育（子供の農業体験）
子供向け職業体験
巡回バスの運行

Q37 その他のニーズに対するご意見

施設

図書館・学習施設・カルチャーセンター
散歩コース・ジョギングコース・サイクリングコース
ボール遊び、スケートなど自由な遊び場
広い芝生広場・大型遊具・知育遊具・ドッグラン
保育園・幼稚園・託児施設
ミニ動物園・ミニ水族館（川辺で自然な生息形態）・博物館
バーベキューサイト・イートインできるパン屋や喫茶施設・道の駅
水遊び場・ピオトープ・季節の花々
サーカスの開催・ファジアーノのグラウンド

維持管理・手入れ

税金・予算の用途の明瞭化
管理費を抑えて、公園自体で収益をあげる仕組み
民間の清掃員・ゴミ箱の設置
綺麗な状態の維持・美化・完全禁煙
ペットの糞尿問題の解決・衛生面

治安・防犯

清掃員や管理人を常に置く
手洗い・トイレの設置・外灯の整備
交番の設置・警官のパトロール・防犯カメラの設置
木が増えることでの死角を減らす
飲酒の禁止

交通・アクセス・渋滞

シャトルバス・巡回バスの運行
交通渋滞対策・十分な駐車場の確保・駐車場の無料化
病院への救急車の進路確保対策
施設に近い駐輪場・ももチャリ
線路北側からのアクセス向上
周辺歩道のガードレール

項目別のご意見での傾向

機能性

車椅子、ベビーカーでも利用できるバリアフリー化
日除け・木陰・雨天時でも利用できる施設
とにかくのんびりできる公園
犬やペットを連れて回遊できる
未就学児やシニアでも参加できるイベント、企画
無料wi-fi
防災拠点としての機能、備蓄充実

Q38 全体的な不満の傾向

整備自体への不満・否定的意見

公園を整備すること自体の必要性がわからない
現状のままで、グラウンドと駐車場のみ
公園では無く、商業施設の誘致
渋滞や騒音への不安
税金の無駄遣い・資金使途が不透明
周知がされていない
すでに近郊に似たようなものはたくさんある
ASPOやチボリの前例があり、不安

治機能面への不満・否定的意見

バーベキューの禁止・飲酒禁止・完全禁煙
木々の多いような公園に火気はダメ
ペットの連れ込み禁止
病院があるのに、賑やかなイベントは邪魔なだけ
草花や水、木々が多ければ多いほど管理が無理そう
防災拠点とするのは無理がある

公園・施設への不満・否定的意見

イベントや店舗を設置した場合のゴミ問題
治安・防犯・夜間の不審者、また若者がたむろするような場所にならないように
資金面・すぐ廃れそうで税金での維持管理は難しい
利用頻度の少なくなるような施設などはいらない。ただ自然の溢れる公園が良い。
提案されていることは他の公園や公民館でもできる
交通への悪影響
農園の放置による荒廃・落ち葉や水辺の害虫、藻、動物の糞尿、匂いの問題
一部の限定した人にしか使われないような施設、イベントは意味がない

項目別のご意見での傾向

C39 項目別のご意見での傾向に対する報告

紙面に記載しきれない予想をはるかに上回る「自由記入」の多さに地域住民ほか市民の「公園に対する思いの強さ」を感じられます。一つご了承頂きたいのは、基本整備計画の「カタチ」を大きく変更することはできないことです。しかしその「ナカミ」をさらに発展させることは十分に可能であり、それこそがよりよい公園の実現に必要なことです。

今後のキーワードとしては「陳情ではなく、活動」が市民主体の公園に求められます。アンケートによって共有したニーズや不満を「今から、そして完成に向けて活動に関わる」人々の輪を広げながら具体的なアクションに移していく時期にきました。しばらくはその活動を地道に続けながら、そして先人や専門家の知恵もお借りしながらアイデアや仕組みを萌芽させていきたいと思えます。この地道な活動はウェブサイトで報告を続けながら、将来の可能性につなげていきます。またその活動は、「公園の中での活動が決定されたもの」ではなく「公園の中で実現していくためにできる方法を立案してみよう」という趣旨になります。本ニーズ調査がきっかけとなり、多様な思いの皆様と意見を交流し、意思の疎通が図られていくことを今後の目標にしていきたいと思っております。

アンケート集計におけるルール

- ① お住まいの町内名が選択肢にない（ex. 「今町内」と書いてあるが今二丁目町内、今三丁目町内等と複数ある）
→ 学区を選択の上、町内は「その他」とする。
- ② 計画されていることを「知っていましたか」、「興味がありますか」にチェックがない
→ 「なんとなく知っていた」、「たまに気になる」とする。
- ③ 「何を期待しますか」にチェックがない
→ 今から活動に参加したい～完成したら参加したい方は「期待している」こととする。
→ 完成したら一般利用したい～完成しても利用しない方は「期待していない」こととする。
- ④ 「期待する項目」にどのように参加したいか記入していない
→ 「完成したら一般利用したい」とする。
ただし、自由記入欄にポジティブなコメントがある場合は、「完成したら参加したい」とする。
- ⑤ 「期待しない項目」にどのように参加したいか記入していない
→ 「完成したら一般利用したい」とする。
ただし、自由記入欄にネガティブなコメントがある場合は、「完成しても利用しない（できない）」とする。
- ⑥ 過去の話し合いに出てきたアイデアに○をつけている
→ 自由記入欄に「特に期待：ネイチャーゲーム・プレーパーク」のように入力する。
- ⑦ 各項目毎の自由記入欄が全体の総論になっている
→ 個人のニーズ記入欄に入力
- ⑧ 今後も情報発信を希望しますか？にチェックがない
→ 「いいえ」とする。